



安全で当たり前

より複雑化し進歩する医療技術。より高度化し進化する医療機器。

しかしいつの時代も医療の先は「人」であることに変わりはない。

患者さんに満足していただくため「安心」で「信頼」の
おける医療提供に貢献する

五稜郭病院の理念である「安心、信頼、満足を患者さまと地域に」を基に、当科では医療機器の中央管理をはじめ、各臨床現場への技術提供、安全使用の為の保守点検や教育研修などの業務を行っています。では実際にどのような業務を行っているか簡単にご紹介していきます。

機器管理

病棟で日常的に使用される輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニターは当科で中央管理し、清掃、簡易チェックを行ない払い出しています。その他、人工呼吸器、IABP、急性血液浄化装置等の管理も行っていきます。



手術室

心臓手術に必要な人工心臓の操作をはじめ、腹腔（胸腔）鏡下手術、関節鏡下手術、白内障手術等で使用する様々な装置の操作、保守、点検を行っています。その他、看護師を対象とした機器の取り扱い方法、注意喚起といった勉強会を随時開催しています。



透析室

透析液の作成、透析装置の点検修理、穿刺回収、バイタルチェック、などを行っています。また、透析液浄化への取り組みとして、エンドキシン測定、生菌検査を実施し、水質管理を行っています。



心臓カテーテル室

ポリグラフ、IVUS、ローターブレード、IABP、PCPS、除細動装置等の操作、術野ヘデバイスの提供等を中心に行っています。また今年度から術野に入り、セカンドとして医師のサポート業務も行っています。



集中治療センター

急性血液浄化（CRRT、PE、PP、PMX等）の準備、操作、警報対処、また人工呼吸器の点検、モニターや除細動装置の点検を行っています。



知識を深め、磨いていく

—より安全な医療を提供するため—

当科では、医療機器安全管理に関する教育研修も行っていきます。主に看護師を対象とし、日常的に使用する医療機器の取り扱い方法、また新規導入、仕様変更に伴う勉強会等を適宜開催しています。

院外講習会の開催で、地域医療に貢献する

五稜郭血液浄化セミナー、手術室安全セミナーなどを開催し、地域の病院スタッフの方たちと交流を深めています。こういったひとつひとつの働きが地域医療の貢献につながって欲しいと願っています。

